

2010.10.15

## Contents

2010年度  
グッドデザイン賞を受賞!HABITA「みんなの家」  
長官賞を受賞!

HABITAな風景

住まいは巣まい

キニナルマドリ

住まいのオーダーメード館403

住まい文化の葉

住健住康

Green Earth

Office HABITA

豆ハビ

5th ROOM

連載



## HABITAな風景

## 今夜のお月見

陽が暮れるのが早くなりました。  
家路を辿りながら、風もすいぶん涼しくなったと思いました。  
お茶の葉を買いに行ったりけれど、種類が多くすぎて、どの茶葉が良いのかさっぱりわかりませんでした。  
今日は家族でわいわいがやがやと、お団子づくりをしています。

とっぷりと暮れてゆく空を見ていると、一番星を見つけることができたので、少し得した気分になりました。

街灯も少なく、他の家の光も近くにない静かなところなので、わが家のあかりが、とてもきれいに見えます。

お月見用の行燈も、もうすでに準備できているようです。

# Weekly HABITA 037

三澤 千代治の  
住まいは巣まい

## 個室は「子失」、

子どもは小学生くらいから個性がでてきて、親と距離を置くようになります。今の子どもには個室が与えられ、部屋に鍵がかかるようになっているのが当たり前ですが、本当にそれで良いのでしょうか？いったん部屋に入ってしまうと、遮断された空間に子どもがひとりでいることになります。これでは、親子のコミュニケーションが十分にとれません。

私は子どもに個室を与えることは、「子失」につながると思います。このことを『家をつくって子を失う』という著作で喝破したのは住宅産業研修財団・理事長の松田妙子さん。多くの示唆に富む本ですので、一度お読みください。

子どもが個室を持つ家では、持たない家庭より明らかに一家団欒の時間が少ないので、家族そろって食事をする回数も少ない。

家族との接觸の少ない子どもたちは、学校でも「協調性に欠ける」「級友に対して思いやりがない」「何事にも集中しない」といった傾向にあります。

ですから、家庭の音は筒抜けのほうがいい。ふすまや障子で仕切った続き間が望ましいのです。人の気配を感じ、家族の話し声が聞こえるからです。顔は見えなくても、お母さんが料理をしている音が聞こえ、食事の匂いが漂う空間には人のぬくもりがあるからです。

(MISAWA international 社長)



## 2010年度グッドデザイン賞を受賞！

2010年8月27から29日の3日間、「グッドデザインエキスポ2010」が東京ビッグサイトにて開催されました。アジア最大級のデザインイベントとして、グッドデザイン賞の1次審査会終了後の出展物をお披露するデザインの祭典です。このデザインイベントの中でHABITAの「みんなの家」、「松江 堀川の家」、「インテリアキャビネット」の3商品が2次審査を通過し、グッドデザイン商品として選出されました。HABITAが同賞を手掛けたから3年連続の受賞となります。

！ デザインの祭典  
！ 「グッドデザインエキスポ」

グッドデザイン賞は1957年の創設以来、日本を代表するデザイン評価・推奨の制度として運営されています。グッドデザインを受賞したことを示すGのマークを、テレビや雑誌などで、また実際身近な商品で、一度は見たことがあると思います。

「グッドデザインエキスポ」は日本で唯一の総合デザインプロモーション機関である(財)日本産業デザイン振興会(JIDPO/東京都港区)が毎年選定する「グッドデザイン賞(Gマーク)」に応募された商品などの中から1次審査を通過し、2次審査へのぞむものを一堂に集め

て一般に公開しているものです。

Gマーク商品として認められるためには、一般的目を通しても優れたものでなくてはなりません。応募した企業やデザイナーのさまざまな「デザインに対する心意気」を知ることができる嬉しいイベントでもあります。

今年の「グッドデザインエキスポ2010」が開催された、8月27から29日の3日間は34度を超える猛暑の中、44,325名の人々が会場に足を運びました。昨年度を約1,000人上回る来場数で、注目





みんなの家



# HABITA「みんなの家」 長官賞受賞!

2010年のHABITA Gマークの申請は、本部からは「みんなの家」を出品し、グループ企業との協力により全部で4件の出展をしました。HABITA KENSO(本社:島根県出雲市 安食社長)「松江 堀川の家」、HABITA住楽工房(本社:茨城県坂東市 倉持社長)「生子の新農家屋」の住宅の他、多くの家具製造を手掛けHABITAの提携企業でもある内藤家具インテリア工業(本社:山梨県 南アルプス市 内藤社長)と協同開発した、収納家具の「インテリアキャビネット」です。中でもHABITA「みんなの家」は特別賞である中小企業庁長官賞を受賞しました。残してゆく家を造るには愛され続けるデザインを大切にしているHABITAとしても喜びの大きい受賞となりました。



## 2010年受賞は特別賞を受賞

今年度は「みんなの家」が特別賞の長官賞を受賞しました。次世代の住まいとして、家族と友だちが分け隔てなく関係を深める情報社会にふさわしい家のデザインを開発しました。家族と友だちを合わせた「みんな」のためのライフデザインフレームを持つ家です。

「家という場所の持つ力を信じ、現代社会の課題に正面から向かいあつて。具体的には、木質系住宅のプロトタイプのような簡潔さのなかに、現代家族のライフスタイルを反映したプランニングがなされている。」と評価されました。外観やインテリアのデザインだけではなく、プランニングのデザイン価値を評価されたことは、住まいづくりを進める上では、とても大きなことです。

地域に根ざした住まいとして受賞したのは、「松江 堀川の家」。島根県のHABITA KENSOが施工した建物で、松江城堀川の町並みを思い起こす外観デザインの中に、古民家のエッセンスを生かしながら、100年後の再生を目指すデザインを考案しました。

「古い街並みに新しい住宅を建てるマナーを追及する姿勢は評価に値する。細部へのこだわりも感じられる。」と評価されました。



みんなの家

HABITAとしては今回初出品となる家具・インテリア部門で受賞したのは「インテリアキャビネット」です。木材「現し」のインテリアに合う什様のバリエーションと、可変性の高いパートで構成された間仕切り家具収納は、永い将来のことを考えた家づくりから生まれたキャビネットです。

「システムの語源はギリシア語の『結合する』だそうだ。造り付け家具と建具を融合させ、広義に「システム」化した家具である。突板、テキスタイル、オレフィンと3種類のマテリアルは素材の特徴を生かし爽やかだ。

柱の柱目突板は、接ぎ合わせ技術のセンスが生かされ無垢感がある。テキスタイルは富士吉田の伝統高密度織物を採用し玉虫色に輝く。用途と機能から導きだしたシンプルに徹したデザインも心地いい。」と評価を受けました。

## 初出品、初受賞の2008年

HABITAのGマーク受賞の始まりは、2008年度です。2商品が初受賞で注目されました。今ではHABITAの主力商品ともなっている「岩瀬牧場」と「SORA・MADO」です。

「子どもたちが絵に描くような簡素で小さな家のイメージは、現代の重装備で多様化した家のありように対し、もう一度原点を考えていくことで見直そうと提言している。単純化された外観のもつ強い図像性は見飽きられることなく、無駄なものがない良質な空間と素材は時代を経ても変わらない感覚、すなわち五感で感じる心地よさを問いかけてくる。」と評価されました。

SORA・MADOは、表情を変えてゆく「そら」を見上げる大きな「マド」を家の中心に配置。外からの視線を気にしてカーテンで覆われていたマドたちを中庭に集めました。

「家族を包むおおらかで良質な器としての家。中庭を家の中心にとることで、周囲をとりまく内部空間が、壁を設けなくてもゆるやかに分散され、家族が個々の居場所を守りながらお互いの気配を感じられる構成を実現した。

中庭に面した大きな窓からは、空や風を身近に感じられそうだ。木造真壁で骨太な素材を現した空間は、物理的にも実用的にも、そして流行にも流されない長寿命な家づくりを目指している。」と、審査員は評価しています。



## 2年連続受賞 「SORA・MADOさんぶ」

2009年度に受賞したのは、「SORA・MADOさんぶ」です。もつとも贅沢な平屋という建て方で、家の中のどこにいてもほとんど視線を遮られることができなく、真ん中に設けた中庭のマドからどの部屋にも均等に光を届けることができます。

2008年度に受賞したSORA・MADOの平屋バージョンとして出品したものですが、みごと2年連続の受賞となりました。

さまざまな領域から優れたデザインを見出し、広く伝えてゆくことを目的としたグッドデザイン賞。よいデザインのものがこれからもたくさん生まれて永く残されてゆくでしょう。

良いデザインでなければ、残したい、守りたい、伝えたいとは思いません。それは、HABITAの家づくりにも通じるものがあります。HABITAはこれからもデザインを大切にする心を忘れずに、受け継がれる住まいを広めてゆきたいと思います。



インテリアキャビネット



松江 堀川の家



2008 岩瀬牧場



2008 SORA・MADO



2009 SORA・MADOさんぶ

キナルマドリ

## かくされたところ

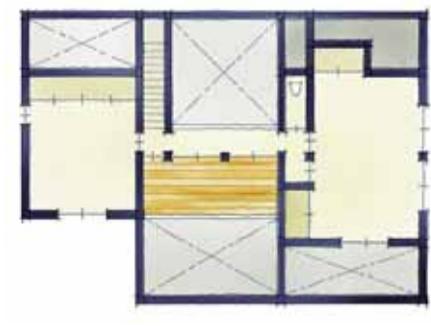
かくされたところには、何があるのだろうか。見えないところがあるからこそ楽しみもある。空間的には繋がっているのにかくされている。

それは、ひとつの階だけでなく目線を上げても感じることができる。

ひと度、内に踏み入ると広く開放された空間となる。かくされたところがある家。まさにこれこそが、奥深い家である。友が来れば第一声が楽しみである。



1階 26坪



2階 21坪

HABITA タカスギ

403 住まいの  
オーダーメード館LC4 シェーズロング  
(ル・コルビジェ)

ル・コルビジェの作品の中でも  
世界的に最高の知名度を誇るこ

の椅子は、支持体である金属パイプフレームが描くゆつたりした優美な曲線と、人間工学に基づいた身体の曲線に沿って曲げられた2つの対象的な「線」の結合から、伝統的なロッキングチェアに変わる新しい休息椅子としてデザインされた作品です。

オリジナルはニューヨーク近代美術館(MOMA)に所蔵。

ル・コルビジェのLC4 シェーズロングのデザイン性をそのままに、現代の高い技術で復刻生産したものが、リプロダクト製品です。

高品質・低価格で素晴らしいデザイン家具をご提供できるのが利点です。

芸術的家具をご自宅に!



Chaise Longue / Le Corbusier

参考サイズ:W1600×D550×H750mm  
商品価格:73,500(税込)  
403掲載商品No. G-0257\_005

## 住まい文化の栄

## み・うま

外国の建築意匠の中では、蛇を建築の象徴として使っているのを見かけることはありますが、日本の文化の中ではあまり定着していません。蛇紋岩という黒色の縞模様の石材の名前にあるくらいです。

それに対して「うま」は、さまざまのところで使われています。盆の季節の精霊馬として、きゅうりに箸を刺した姿がその象徴かも知れません。先祖には馬で早く現世に来てもらい、茄子の牛でゆっくりと帰つてもらいたいと言う願いが込められています。

建設現場にある身近なものとしては、ちょうど精霊馬のような4本脚の形状の道具があります。現代では黄色の鋼製のものが多いですが、多くは出入りを防ぐために置かれているものです。見たことのある人も多いでしょう。この移動可能なフェンスを「うま」と呼びます。似たような形状で大工が使う鋸挽きの台も同じ呼び方をします。安定した作業台を容易に確保するにはなくてはならないものです。

古い神社に行くと、同じような形をさかさまにして、屋根の上に見ることができます。いわゆる神社建築などにある千木状のものですが、中国・四国・九州では、これも同様に「うま」も

しくは「馬の股」と言います。その数も、住居は奇数とし、厩は偶数とする風習があります。

また、タイルやレンガの積み方として「馬目地」という呼び名があります。最もよく見かける、あみだくじ見<sup>うまぢ</sup>したような積み方でできる目地の文様です。目地や下の材に対して、馬乗りになるように乗せてゆきます。イギリス積みやフランス積みというのも、馬目地の一種です。馬乗り目地とか、馬踏み目地とも言います。

「馬目地」とは違い、目地を天地左右に通して積むのを、「芋目地」と言います。馬の反対は、動物ではないのです。目地を両方に通さなければきれいに仕上がらないので、施工の手間や技術は芋目地の方が大変です。また、馬乗りに積んだ方が強度的にも優位になるので、レンガ積みでは馬目地にするのが一般的です。

建築の世界では、「うま」は安定をもたらす象徴の動物のようです。



## 住 健 住 康

じゅうけんじゅうこう

## 2番風呂が健康によい

毎日の入浴。忙しい時などはシャワーだけで済ませてしまう場合が多いと思いますが、出来るだけ浴槽につかる方が健康に良いとされています。

浴槽につかることで水圧と温度の刺激が体の広い面積に加わります。その二つの刺激がマッサージ効果となって血液の流れを良くしてくれます。

オススメなのは半身浴です。ダイエット効果もある半身浴を試した人は多いと思います。

普通の全身浴の場合だと、水圧が半身浴より強いため心臓や肺などの内臓に負担をかける場合があります。半身だけ温まることによって、温まっている部分とそうでないそれぞれの部分にまんべんなく血液がめぐる事になります。これにより体の芯まで温まった状態を維持できます。

温度によっても体に対する効果が違って来ます。37℃くらいのぬるめのお風呂につかった場合は副交感神経



が促進され、リラックス効果が期待できます。40℃を超える、少し熱めのお風呂につかった場合は交感神経が促進され体が目覚める手助けをしてくれるのです。朝は気持ち熱めのお湯に、夜寝る前などはリラックスできるぬるめのお湯にゆっくりかかるのが効果的でしょう。

さまざまな効果のある入浴ですが、健康に良いからといっていつでも入ればいいというわけではありません。

胃もたれなど、消化の負担になるため食後すぐの入浴は避け、出来るだけ30~40分以上の時間をあけてからにしましょう。

アルコールを摂取した状態での入浴は、血圧が低下し心拍数が極度に増加するので、体に負担がかかるので危険です。

また、一番風呂は綺麗な水に体を入れるため、とても健康的に思えますが、刺激が強く体力を消耗しやすい他、水道水に含まれる不純物を最初に取り込みやすいのが一番風呂です。2番3番風呂だと、前にに入った人の皮脂などによって塩素が中和されるため、体への負担は少くなります。

一番風呂の場合は、ゆずや蜜柑などの柑橘類の皮をお風呂に入れると不純物が取り除かれます。



## WHAT'S THE BEST KITCHEN?

理想のキッチンってなんでしょう？

元気な身体をつくるおいしいごはん  
毎日毎日、キッチンからうまれます。

おいしいごはん、それは心のこもったごはんです。  
ごはんを囲んで家族の心が集まる。  
YAJIMA はそんなキッチンの理想を考えました。

株式会社矢島

本社/〒184-8502 東京都小金井市本町4-1-3 TEL:042-381-1431 FAX:042-381-2484

## 世界で初めて! 水ガラスコーティング

無機水性塗料 パールX

Pearl・X

美しい木材を持続させる

シロアリ  
ノックアウト  
細菌  
パックアウト  
カビ  
ロックアウト  
臭い  
シャットアウト

OKISHIMA  
CORPORATION

沖島工業株式会社  
〒180-0006  
東京都武藏野市中町3-1-2  
TEL:0422-52-0909



## 森林を活かす時代



日本の国土の66%は、約2,500万haの森林面積で、過去40年間増減はありません。しかし、人工林は昭和41年と平成19年を比べると、約30%増えて、1,000万haになっています。戦後の拡大造林によるものです。拡大造林とは、主に広葉樹からなる天然林を伐採した跡地や原野などに、針葉樹中心の人工林に置き換えることです。同じ期間で見比べると、天然林は約15%減っています。

人工林は、将来の木材として使うために、苗木を植えて、人の手で育てた森林です。

森林を構成する木の体積のことを森林蓄積といいます。日本の森林面積は横ばいで増減はありませんが、森林蓄積は着実に増加しており、過去40年間で2.3倍に増

え、特に人工林は約5倍に増大しています。その人工林が、生長し伐採期を迎えています。

人口林の森林蓄積が増え続けているのは、戦後の拡大造林で植林した木々が生長し、伐採期を迎えているにも関わらず、輸入材が増えて、日本の森林資源が使われずに、放置されているからです。



HABITAが構造体で使っている、帽、カラマツ、桧は、いずれも針葉樹で、現在、人工林として生長し、伐採期を迎えています。今日本では、生長した森林を活かすべき時代なのです。



### 法隆寺のように長持ちする家

世界で一番古い木の建物は法隆寺。

世界遺産にもなっているんだよ。1300年も前の建物が今も残っているんだ。木の建物は1000年以上もつ、とっても丈夫なものだつてことが昔の建物を見るとよくわかるよね。何百年、何千年たっても残したい建物があるってすごいことだし、うれしいこと。

ほんとは、木の家は100年だって200年だってものに。木でつくっている家なのは変わりないのに、どうしてどんどん壊して新しい家を建てるのかな。家も、法隆寺を大切に思うような気持ちで、長く大切にしたいな。



見本

しての役目を果たしています。「空白の領域」とは、家の中やアウトドアリビングのガーデンの何にも属さない無縁の空間です。日本の田舎の景色では、漬物用の大根、干し柿、玉ねぎを干すなど、昔からこの場所が季節に応じて有効的に使われていました。この中間領域の縁側は、隣近所の交流の場として実に最適です。

縁側は縁のある人の集まりの場でもあります。そして縁側やポーチ、テラスという中間領域を覆う庇は、梅雨時には庇の部分が雨の吹込みを少なくし、それでいて風は通すので快適さをもたらします。

経済的にも、真の豊かさやゆとりは生まれません。職人の仕事の一つ一つにも目を通し、現場チェックを怠らない塩毛社長。意匠にこだわる事が最終的にその家を引き締めるという。だからこそ、お客様と同じように職人とのコミュニケーションを大切にしている。

「良い人たちで造るからこそ、良い家ができます。」と語る社長の眼差しには、家づくりに対する真剣な想いがうかがえました。



住まいづくりにちょっと役立つドキュメントTV

### HABITA/TV

HABITA/TV 検索

日建ホーム株式会社の詳しい内容はHABITA/TVの8ch「HABITAオフィス紹介」で紹介しています。

www.habita200.jp/



第37号 2010年10月15日 発行:MISAWA-international株式会社 TEL.03-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1

100円



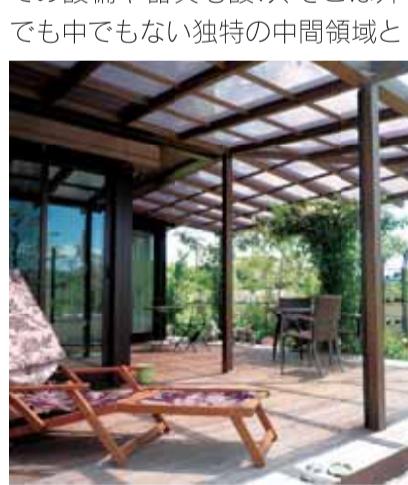
## 中間領域の空間・縁側

家と庭を合わせて、家庭という言葉はよく使われます。しかし家と庭の中間の部分が今、注目されています。それが縁側の世界“軒下のポーチ”的世界です。

日本では四季があり、その季節をうまく暮らしに取り入れていくことが大切であり、中間領域である縁側やポーチの暮らしの場がとても重要とされています。

かつての日本の伝統的な建築に、この考え方が活かされていました。また、海外でも設計の段階から屋根を伸ばし、その下にその家

の暮らしがコンセプトに合わせた「空白の領域」、いわゆるポーチの概念が活かされています。風が通り、家具を置き、時折食する場としての設備や器具も設け、そこは外でも中でもない独特の中間領域と



しての役目を果たしています。「空白の領域」とは、家の中やアウトドアリビングのガーデンの何にも属さない無縁の空間です。日本の田舎の景色では、漬物用の大根、干し柿、玉ねぎを干すなど、昔からこの場所が季節に応じて有効的に使われていました。この中間領域の縁側は、隣近所の交流の場として実に最適です。

縁側は縁のある人の集まりの場でもあります。そして縁側やポーチ、テラスという中間領域を覆う庇は、梅雨時には庇の部分が雨の吹込みを少なくし、それでいて風は通すので快適さをもたらします。

す。また、庇を長くすることによって、暑い夏の直射日光を確実にさえぎり、爽やかな日陰を作ることができます。このように日本の伝統的な建物は、見事に計算された構造になっています。

また、縁側は建築的にみれば空間の縁(ふち)にあたります。このふちは「内」「外」という空間の連続性をいつたん断ち切ることによってつなげていく役目を果たします。

内と外という家と庭の世界は、縁側や、ポーチというクッションを設けることによって生活者の幸せや個々の暮らし方、独特の文化をも生み出す大事な空間でもあります。この空間のそれぞれの縁(ふち)を間取るとともに、この中間領域の意味を深く考えていくことが、いい家と庭づくりにおいて大切なことではないでしょうか。



## 「ポーチガーデン®」 家と庭をつなぐ、もう一つの部屋。

詳しくはホームページへ! タカシヨー



やすらぎのある空間づくり  
株式会社タカシヨー

和歌山県海南市南赤坂20-1 TEL.642-0017

お客様サービスセンター 0120-51-4128

ごい よいにわ  
L+D+R+B & G (五番目の部屋)